

広報

さがわ

1971

12月号

No. 217

編集兼発行

鮫川村総務課

塩町・佐藤印刷所



このたくましい後継者たちに幸あれ！

11月恒例の文化祭に、お母さんお嫁さんに感謝する会が盛大に開かれ、その席上健康な赤ちゃんを育てた若いママさんたちが表彰されました。

いそがしい仕事や家事に従いながら子供を健康に育てることは、ほんとうにご苦労なことで、社会から深く尊敬されなければなりません。村では助産費を1万円に引上げ、育児手当、乳幼児医療費10割給付などを行っておりますが、1月からは国の児童手当支給が始まります。

- ◎1月1日 元旦、交通事故ゼロの日
- ◎1月4日 官公署御用始め
- ◎1月15日 成人の日（鮫川村成人式）
- ◎1月1日～14日 交通事故防止運動実施
- ◎第3日曜日は『家庭の日』です

今月の人口

人口 6,487 (-13)
男 3,277 (-8)
女 3,210 (-5)
世帯 1,197 (-2)

児童手当の

支給が始まります

十八歳未満の子供が三人以上あつて、三人目から下の子が昭和四十二年一月二日以降に生れており、ますと、一人につき、一ヶ月三千円の児童手当が、来年一月分から二月、六月、十月の年三回に分けて支給されます。

該当者の大部分の方は認定請求書を、提出されましたが、まだ、

提出されない方は十二月二十七日までに役場の住民課で手続をして下さい。

その際印鑑を持参して下さい。

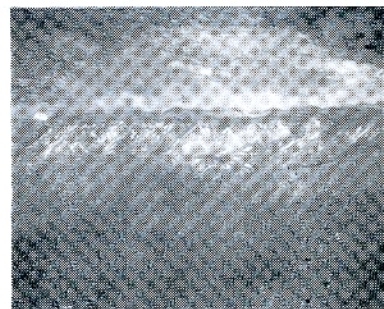
鯨中に名画寄贈

鯨川村出身の鈴木春詩画伯は、今年の文化祭に鯨川村公民館で個展を開きました。個展には作品八十余点が展示されその見事さは参観の人々を感銘させました。

特に画伯は、花鳥、風景画を得

意とし、その中でも水墨を主とした画風は中央画壇でも高く評価されています。

画伯は、展示した作品のうち中央画壇で入選した「奥久慈の夕陽」(80cm×180cm) 時価三十万円という名画を鯨川中学校の後援のために寄贈されました。生徒は勿論、たずねる人達も心をすませて感嘆しており教育上たいへん有意義であるところをこぼれております。



名画「奥久慈の夕陽」

はたのあみ

(8)

東白川地方の町村長一同は、西白河地方市町村長の代表を加えて十二月二日、農林省に「こんにやく特産農業センター」をこの地方に設置することについての財政援助方を陳情しました。

この陳情には県の園芸農産課係長、白河農政事務所長、県こんにやく試験地主任等も参加し、また国会開会中で極めて多忙の中を衆議院から八田貞義先生、渋谷直蔵先生、湊徹郎先生(秘書)も同席され、まさに挙国的な陳情となつたわけです。

たまたま赤城農林大臣が病気で休んでおられたので、伊藤農林政務次官室に担当の蚕糸園芸局長、畑作振興課長等の幹部に集つて頂き、一同を代表して私から趣旨を陳べて要請しました

特産農業を育てよう

村長 石田 卯子 八

福島県のこんにやく栽培は、三〇〇年の歴史をもち、二〇〇〇ヘクタールの栽培面積から二六億円の生産をあげる産業ですが、福島県特産としての銘柄も確立されず群馬県産などの名において販売されている実状であります。

こんにやく栽培の脅威であつた病害の防除が概ね解決した現在、依然として大きな脅威となつてゐるのは価格の変動が激しいことである。

しかも本県栽培面積の半分約一〇〇〇ヘクタールは、東白川地方に栽培され、また東白川地方としては樹園地を除く畑面積の二分の一にこんにやくを栽培しているの、唯一の主産地であるとともにこんにやく作の豊凶盛衰は、農家

す。流通機構の複雑さは前近代的の域を脱せず、価格変動巾を制御する方策は何等行われていないのであります。

これは生いもや荒粉で出荷するため、短期間に処理しなければならず、通年均等販売ができないとります。

ここに、投機性を誘発し、公正な価格形成が阻害されているものと見られるのであります。

こんにやく特産農業センターはこれらのマイナスイメージを除去することを目的とし、こんにやく栽培の安定と、正常価格による安定的農業所得の増加を目指すもので、特産の主産地東白川地方としては是非建設を期すべきものと思ふのであります。

わが村ではまだ農協に荒粉加工の施設もできていないので、栽培園地の拡大を図るとともに早期に一次加工の施設を整備し今後建設されるべき特産農業センターとの有機的な連携機能を活用すべきであると思ふのであります。

人事

十一月三十日付

依願退職 山形恵子(主事補)

おめでた

十一月

広畑 芳賀 香織 父一
発地岡 高野 友善 父辰雄
官沢 矢吹 稔 父勝治
水口 市川 正人 父正尚

おぐたみ

十一月

前押野 高木房之助 71才 芳男 世帯主
後折戸 阿久津マツ 68才 健藏
遠ヶ竜 森 宗一 61才 重寿
大久保 生田目政治 77才 幸治郎
戸草 芳賀 スミ 75才 武
前押野 緑川 友安 38才 ウラ子

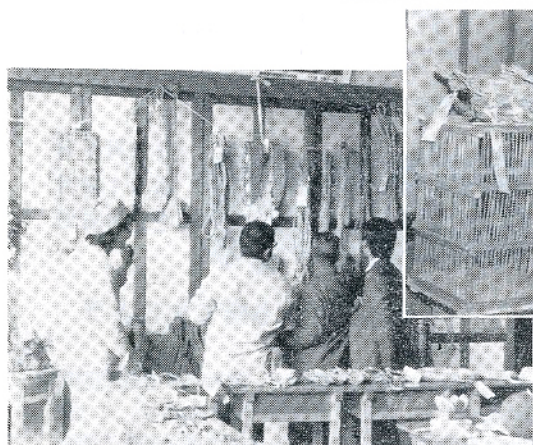
火の用心

石油コンロやコタツの取扱いに注意して下さい。

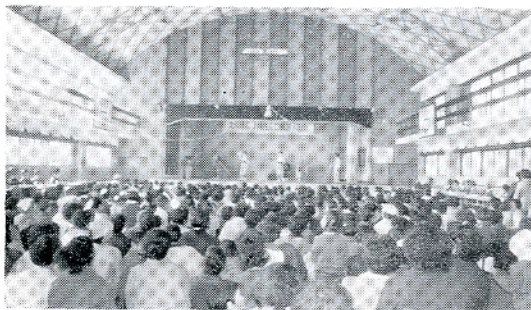


子供の火あそびに注意。

第24回文化祭スナップ



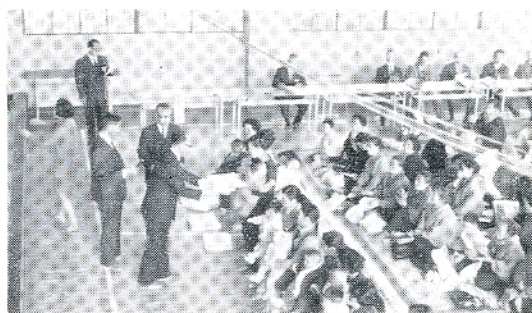
高令者の作品展は今年が初めて、腕前に年はとらないと感嘆しきり



お母さんお嫁さんに感謝する会の盛況と、熱演の会津民謡協会



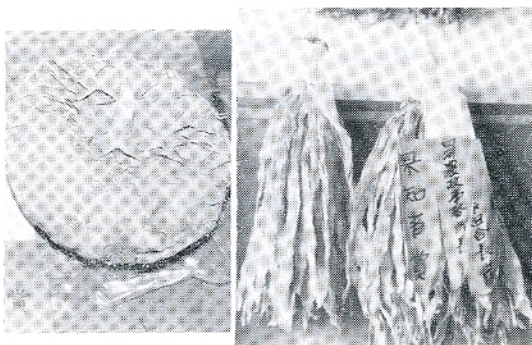
人気第一は保育所の展示会。作品の出来もよければ、陳列装飾も抜群！



健康な赤ちゃん和若いママに表彰状がおくられ拍手鳴り止まず



新しい中学校に展示された児童生徒作品展、校舎も美しく作品も美しい。



広く多くの農家に作られている点ではこんなにやくに優る特産なし

村の特産第一は葉たばこ1億をこえる大産業。今年も上出来

五町歩以上は県単事業で県補助四〇％、地元負担六〇％、その中の八〇％は長期低利の融資で、二〇％は差当りの自己負担です。

なお村から利子補給があります

渡瀬地区は立派には場整備が行われ、鮫川村の模範農地になりました。西山の大沢地区は受益者が就労し、農外収入をとり年々事業の竣工を見ました。

鮫川村は山村で、会津盆地の様な数百町歩の大事業は出来ませんが、農業の近代化を図る為には湿田の排水、交換分合、区画整理を長期低利の融資を利用して実施すべきであると考えます。土地改良区では暗渠排水に使用する土管を原価で貸与していますから希望者は申込んで下さい(土地改良区)

土地改良区の現況と今後の課題

事業実績

事業名	年度	地区	面積	事業費	備考
区整	44 45年	渡瀬地区	25町	2,600万円	通年施行
暗排	45年	大沢地区	6町	252万円	
区整	46年	福原地区	10町	840万円	通年施行
暗排	同	西野地区	2.5町	130万円	

★新税紹介… 自動車重量税 ……12月1日から施行

税金がかかる車

車検を受ける自動車、車両番号の指定を受ける軽自動車

税金がかからない車

大型特殊自動車、小型特殊自動車（耕うん機等）、原動機付自転車（バイク）また軽自動車のうち、すでに車両番号の指定を受けているものは、一定の手続きにより税金がかかりません。

税額及び納める方法

車検を受ける車は、検査場窓口、軽自動車は新車取得する際に、印紙により納めることになります。

◎税額は次のとおりです。

検査自動車のうち自動車検査証の有効期間が2年と定められているもの	乗用自動車(2輪車を除く)	車両重量が0.5トン以下のもの	5,000
		車両重量が0.5トンを超えるものは、車両重量が0.5トンまたはその端数ごとに	5,000
	乗用車以外の自動車(2輪車を除く)	車両総重量が1トン以下のもの	5,000
		車両総重量が1トンを超えるものは車両総重量が1トンまたはその端数ごとに	5,000
	2輪の小型自動車		3,000
検査自動車のうち自動車検査証の有効期間が1年と定められているもの	乗用自動車(2輪車を除く)	車両重量が0.5トン以下のもの	2,500
		車両重量が0.5トンを超えるものは、車両重量が0.5トンまたはその端数ごとに	2,500
	乗用自動車以外の自動車(2輪車除く)	車両総重量が1トン以下のもの	2,500
		車両総重量が1トンを超えるものは車両総重量が1トンまたは、その端数ごとに	2,500
	2輪の小型自動車		1,500
軽自動車	2輪車以外の軽自動車		7,500
	2輪の軽自動車		4,000

(注) 車両総重量＝車両重量＋最大積載量＋(定員×55kg)

村税完納運月動間

税金の未納をなくし――

継続15ヶ年全村完納

12月1日
より12月
25日まで

――の成績をうち建てましょう

わたくしたちの郷土の繁栄と、ゆたかな発展の原動力は税金です。白河県税務所と村の共同で、この期間中に自主納税の推進運動と併せて滞納整理を進めています。例年のように自主納税に御協力下さい。

☆ ☆ ☆

★木材引取税の特別徴収制度

立木（素材も含む）を売却した場合、取引価格の2%は木材引取税として村に納めなければなりません。税金を支払う人は買主ですが、法の規定により山主が税金を買主より預つておき取引のあつた月の翌月10日までに村に申告納付することになっています。これを特別徴収制度といいます。

★サラリーマンの年末調整

サラリーマンの所得税は、給与の支払者が給与を支払う際に、その給与に応じた所得税を差し引いて納める源泉徴収制度になっています。

そして12月には、今年1年間の所得税を精算するために、年末調整が行なわれます。そのために扶養控除申告書や生命保険料等控除申告書を正しく提出していただかなければなりません。

また、災害や盗難にあつて雑損控除が受けられる人や多額の医療費を支払つて医療控除を受けられる人は確定申告（3月15日まで）をして、納めすぎた税金の還付が受けられます。



- ① 差し出しは午前中に。
郵便局は午後、とくに夕方は混雑しますのでなるべく午前中にお出し下さい。
- ② 郵便番号をお書きください。
大量の郵便物を、早く、正確にお届けするには、あて名とご自分の住所にぜひ郵便番号をお書きください。
- ③ 一時に大量の郵便を出されるさいは、あらかじめ郵便局窓口に出発日時、種類、数量などをお知らせください。
- 毎年のことですが、年末が近づきますと一度に大量の郵便物が差出され、郵便局が混雑してまいります。これらの郵便物をスムーズに処理するために、あらかじめ月別の計画を立てて受入れ態勢を整えています。予告なしに大量の郵便物を差し出されたりしますと処理がとどこおることもありますので次の点にご協力下さるようお願いいたします。
- (お) (願) (い)



あて名に郵便番号を

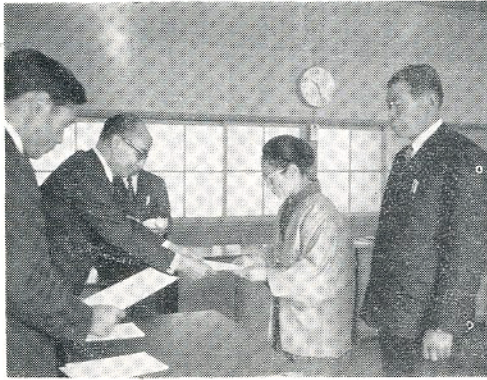
新しい民生(児童)

委員さん

このたびは鯉川村民生(児童)委員十六名が厚生大臣及び県知事から委嘱され、その伝達式が十二月一日午前十時から役場会議室で行われました。

新しく委嘱された委員は次のとおりです。

赤坂西野区担当 高坂 エイ
西 山区担当 北条 正人
" 区担当 関根 光雄
" 区担当 齊藤 武
赤坂中野区担当 鈴木 義男(再)
" 区担当 大河内淳一(再)
" 区担当 矢吹 甫
赤坂東野 渡辺 正佳(再)
石井草区担当



民生(児童)委員の委嘱状伝達

△制度のあらまし▽
中小企業退職金共済制度は昭和三十四年に定められた中小企業退職金共済法にもとづきつくられたもので国の援助と共済方式の採用によつて中小企業でも有利な退職金が確実に支給できるようになっています。この制度は昨年三回目の法律の一

中小企業退職金制度

事業主の皆さん中小企業でも確実に従業員に退職金が支給できるようにするため国の退職金共済制度があることをご存知ですか。

よい従業員の確保と企業繁栄の基礎を築くための機会にそつて退職金共済制度を利用しましょう。

ご存知ですか

佐藤千代治(再)
中川西金之助
松本 一郎
鷺野谷巳之二
芳賀キヨノ
渡 瀬区担当
" 区担当 蛭田喜代次
" 区担当 森田 一雄(再)
" 区担当 長久保 勲
" 区担当 青生野区担当

なお、委員の互選により、民生委員総務に中川西金之助氏・同副総務に鈴木義男氏が選ばれました

部改正が行なわれ、退職金額も増額されています。

△制度の利用状況▽

全国的にみると本年八月末現在
加入企業数一六万事業所
加入従業員 三〇〇万人
支払われた退職金 二四〇億円

△制度のしくみ▽

事業主が中小企業退職金共済事業団と退職金共済契約を結び、毎月従業員一人一人の掛金を金融機関に納めます。従業員が退職したら、所定の退職金を事業団が直接退職した従業員に支給するしくみです。

△申込みは金融機関へ▽

1. 加入できるのは
常用の従業員が一人以上三〇〇人(商業、サービス業等では五〇人)以下の事業所に限ります。
2. 加入するときは、すべての従業員を加入させてください。事業主は加入できません。
3. 申し込みは近くの金融機関に申し込んでください。申込用紙は金融機関の窓口にならえてあります。

退職金額表

(国庫補助金を含む)

掛金 月数	400円	1,000円	2,000円	4,000円
11か月以下	0円	0円	0円	0円
12か月	1,440	3,600	7,200	14,400
24か月	9,600	24,000	48,000	96,000
36か月	15,160	36,760	72,760	144,760
60か月	29,180	70,760	140,060	278,660
120か月	81,290	191,030	373,930	739,730
180か月	148,760	349,580	684,280	1,353,680
240か月	235,110	552,510	1,081,510	2,139,510
360か月	505,330	1,187,530	2,324,530	4,598,530

す。

△毎月の掛金は▽

掛金月額額は四〇〇円から四、〇〇〇まで十六種類あり、従業員個人ごとにきめます。掛金は全額事業主の負担となっています。
この制度について、くわしく知りたい方は、役場経済土木課又は白河商工労政事務所におたずね下さい。

障害による老令年金の繰上支給

次の方々には、病気のため身体が不自由のときは老令年金を繰上げて受けることが出来ます。

明治三十四年十一月一日から明治三十九年四月二日までに生れた人で日常生活上、自分で自由に身のまわりの支度が出来ないような人たとは

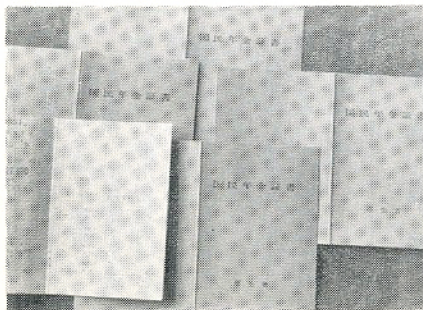
(一)両眼の場合。自分で自由に食事が出来ないもの

(二)両耳の場合。大声でよんでもはつきり自覚出来ないもの

(三)音声又は言葉に著しく障害のあるもの

(四)手のおや指及びひとさし指又は中指が全く使うことの出来ないもの

(五)どちらか片方の足を切断し、又は全く機能を欠くものくわしいことは役場住民課年金係に相談して下さい。



成人式の申込は今すぐに

鮫川村の成人式は昭和四十七年一月十五日(成人の日)に行いますが、本村の成人者は、昭和二十六年四月二日から二十七年四月一日の間に生れた方々です。住民票から調査して名簿を調製しましたが、洩れている方或いは転出してゐるが、本村の成人式に出席したい方などは、十二月二十五日まで、村公民館(電話四十二番)に申し込んでください。

※(一)内は世帯主

◇赤坂西野

石井富一(芳美)・須藤典子(弘美)・須藤祐子(タニ)・生田目文江(茂)・矢吹健雄(健治)・北条定子(チヨ子)・高坂孝子(ヨシエ)・高坂治郎(琢郎)・高坂とよ子(武)・高坂信子(純二)・高坂京子(尹)・鈴木孝志(清助)・高坂喜朗(七朗)・増谷あきの(新光)・江田和(庄市)・関根成男(良夫)・藤田信子(牧吾)・舟木敏夫(留吉)・鈴木みよ(善八良)・高坂まき(正雄)

◇西山

鈴木ふぶ子(一実)・本郷臣夫(市次)・緑川さち子(武男)・高木雪広(芳男)・水野栄子(ユキ)・三瓶しづい(福義)

・上野清子(栄市郎)・根本日出雄(千歳)・須藤節子(近之助)・須藤啓太郎(福次郎)

水野トモ子(啓)・大竹シデ子(七郎)・関根悦子(スエ)・関根京子(英男)・高野カツ子(勇)・高野長二(友弥)・関根茂保(又吉)・関根富子(敏夫)・水野政春(茂市)・阿久津和代(好也)・我妻紀子(与吉)・本郷二美代(広美)

◇赤坂中野

高木正義(ハツノ)・大池義嗣(義典)・鈴木優(賢一)・蛭田詠子(寿秋)・湯座和子(辰弥)・緑川茂(重明)・円井みさ子(良八)・大栗芳枝(勝男)・鈴木香(実)・矢吹雅之(甫)・矢吹秋男(一男)・円谷実(菊重)・山本フミ子(健治郎)

◇赤坂東野・石井草

矢吹光男(勝蔵)・矢吹広(邦広)・円井マチ子(政利)・金沢起美代(清)・芳賀昭二(喜一)・芳賀秀男(喜一)・芳賀邦弥(弥助)・渡辺千代子(亘)・溝井隆(末吉)・芳賀則元(一男)・芳賀春雄(己子寿)・関根健一(高市)・本郷千枝子(勝重)・中川西好治(好幸)

・森元良(重寿)・森洋(亨)

・蛭田美和子(四一)・前田康恵(栄美)・田子いち(勉一)

・前田憲子(豊太)・中川西洋子(竹也)・中川西愛子(敬吉)・中川西チヨ子(茂)・根本アヤ子(亀代次)

◇富田

星泰三(欣作)・渡辺三代子(作太郎)・穂積孝男(章)・栗原順一(元己)

◇渡瀬

山形武彦(美保)・芳賀邦子(経哉)・山形郁夫(末次)・山形賢一(末雄)・芳賀利弘(徳之助)・蛭田啓喜(一)・蛭田かね子(啓之助)・小松恵一(富治)・芳賀ハル子(ワカノ)

◇青生野

吉成幸雄(義郎)・藤田清治(亀太郎)・山形定子(武雄)・白坂伸治(幹雄)・本多照男(啓作)・生田目ヨウ子(忠治)・生田目まき子(政利)・金沢末佐子(年明)・星祐子(久男)

新成人者の感想文を募集します。十二月二十五日まで村公民館に四百字詰原稿用紙に書いてお寄せください。

●感想文は当日発表していただきます。
●応募者に記念品を贈呈します。

鮫川史(13)

赤坂西野村地福院の沿革

国 島 義 広

筆者が大塩観音様の沿革を探ることとし、然るに文献として確たるものなく現在に至る。最近左の如き文献を得て一部を知ることが出来たのでここに掲げる。

赤坂西野村地福院沿革

白川郡山、赤坂西野村地福院什物

仏子菩薩 西野村大塩

観音 正和五年辰天二月上旬八

日 来福寺檀那大麻助光

一、当山地福院、長く無住にして三十六年前(註一五九〇年頃)

焼失仕候 住持無御座候

一、大日如来

一、過去帳

一、鍋大小二つ 茶釜一つ

一、祈願檀家ノ拾式軒

一、田方穀五十俵

一、御年貢地高八斗二升

此反別七畝拾歩

一、観音堂 一ヶ所

一、薬師堂 一ヶ所

一、寺門、山門 但百三十間四方外に二ヶ所

寛政十年午三月

奥州白川郡赤坂西野村

百姓代 惣吉

組頭 友七

名主 忠右エ門

交通安全のためにと

カーブミラー寄附

このたび、東京電力の送電線工事(鮫川村地内)を請負っている山陽電気工業株式会社から、カーブミラー二十三基が寄附になり、工事現場に通ずる、戸草、青生野地内の危険ヶ所に設置されました。

編集後記

窓ごしに師走の風が吹きさすいま原稿用紙片手に冥想にふけるとき、時計はいやおうなしに秒を刻む。しずかにながむる寒空に星一つあり。

月並かも知れないが月日の立つのは早いもので、今年の新年号を発行したのはつい昨日のごとく思ふ。そしていま昭和四十七年の新年号の編集に頭を痛めている。

今年は異常天候で農作物は不作ましてや「ドルショック」などと聞きなれぬ経済用語がとび出す時世である。ともあれへこたれずお互に健康に留意し、且つ年末年始の交通事故にはくれぐれも注意して、すがすがしい元旦を迎えようではありませんか。

今年は広報さめがわも県のコンクールで入賞しました。編集者一同これからもガンバリます。ご協力のほどよろしく願います。

最後に皆様のご多幸をお祈りして昭和四十六年をおくります。